

第3章 流域の社会状況

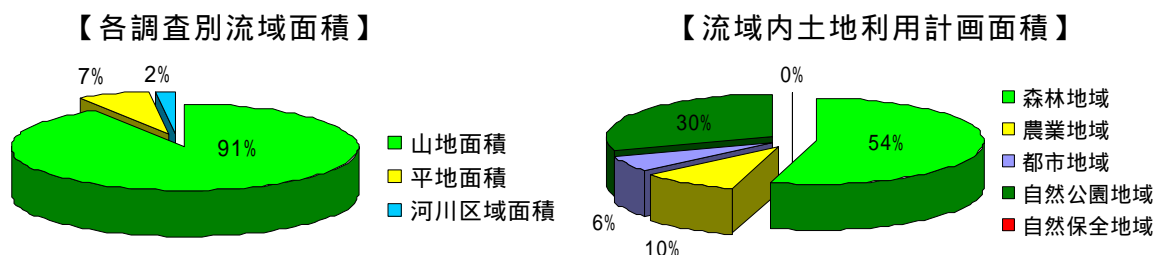
手取川流域は、小松市、松任市、根上町、寺井町、辰口町、川北町、美川町、鶴来町、野々市町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村の2市7町5村にまたがっており、各市町村における人口、産業などの社会状況について次に示す。

3 - 1 土地利用

手取川流域は、流域面積からみると山地面積の割合が約92%を占めており、平地、河川区域面積はごくわずかである。これは、上流域に白山山系の山間部、中流域には手取峡谷に代表される峡谷区間があるためであり、河川の中でも上位に位置づけられる急流河川である。

また、土地利用状況では、山地となっている部分の面積が多いことから、都市・農業地域に対して森林・自然保護区域等の自然地域の割合が多く、自然に恵まれた流域であると言える。

昭和54年



調査方法は国土数値情報の「地形分類・表層地質・土壌ファイル」に基づく

調査方法は国土利用計画法第9条に基づく「土地利用基本計画」の利用区分に基づく

図3 - 1 流域内土地利用状況（工事実施計画策定後）

出典：河川現況調査 建設省北陸地方建設局 S54.12

平成10年

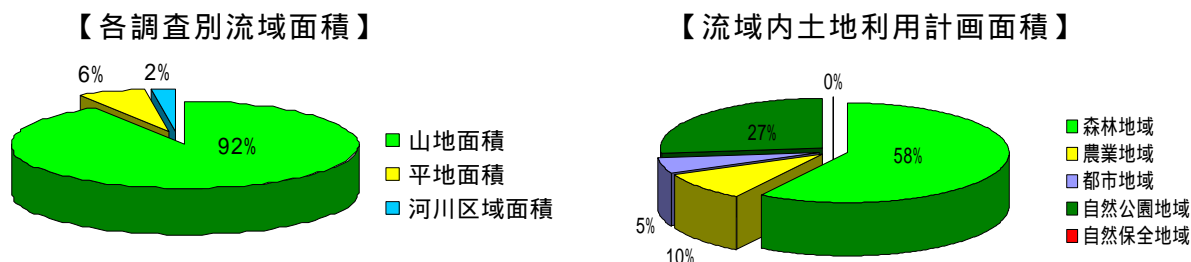


図3 - 2 流域内土地利用状況（現在）

出典：河川現況調査 建設省北陸地方建設局 H10.3

また、流域関係市町村の土地利用状況を見ても、林野面積が約7割を占め、経営耕地が約10%、宅地はわずか4%という状況であり、ブナなど広葉樹の森林に恩恵を受けている流域である。



ブナ林

出典：石川をうるおすはたち
を迎えた手取川ダム

表 3 - 1 手取川流域関係市町村別の土地利用状況

〔単位：km²〕

行政区域	経営耕地	林野面積	宅地	その他の土地	総数
小松市	36.00	258.11	18.57	58.45	371.13
松任市	28.87	0.31	11.40	19.35	59.93
根上町	5.60	1.00	3.29	3.68	13.57
寺井町	5.31	0.32	3.19	4.33	13.15
辰口町	5.56	34.53	3.41	13.63	57.13
川北町	8.20		1.36	5.20	14.76
美川町	2.48	0.50	2.04	4.10	9.12
鶴来町	6.60	19.13	3.06	6.85	35.64
野々市町	3.46		4.50	5.60	13.56
河内村	0.55	66.55	0.24	7.08	74.42
吉野谷村	0.61	110.01	0.32	31.95	142.89
鳥越村	4.78	61.75	0.64	6.98	74.15
尾口村	0.14	99.69	0.23	37.08	137.14
白峰村	0.03	197.41	0.16	24.28	221.88
合計	108.19	849.31	52.41	228.56	1,238.47

出典：石川県統計書

3 - 2 人 口

手取川流域の流域関係市町村における総人口は約311千人（平成12年国勢調査により集計）である。各市町村の人口の内訳は表3-2、図3-1のとおりである。

手取川流域に係る市町村における過去40年間の人口及び世帯数の推移は図3-1のとおりであり、人口は過去35年間で約1.5倍に増加している。それに対し世帯数は、約2.0倍の増加であり、核家族化が進んでいることが窺える。なお、これらの増加のほとんどは、市域の一部が流域に含まれる松任市、小松市による増加であり、その他の町村の増加は微増傾向となっている。

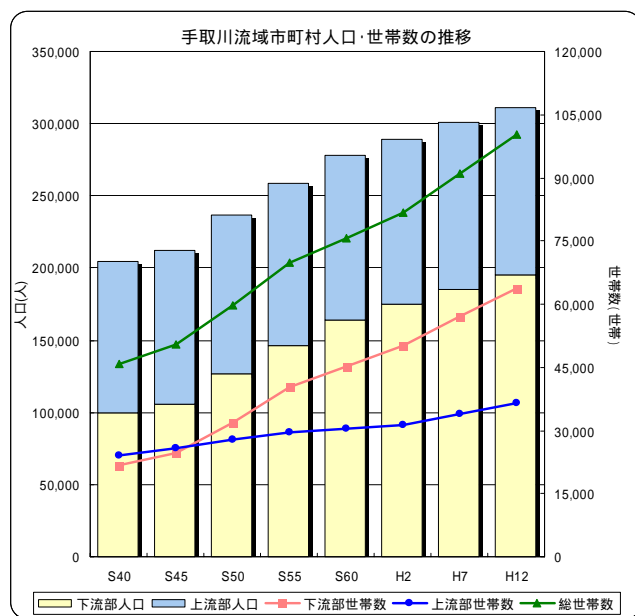


図 3 - 1 人口・世帯数の推移

表 3 - 2 人口・世帯数の推移

手取川流域市町村の人口の推移

区 分	市 町 村	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12
下流部	松 任 市	29,649	31,099	36,170	43,766	52,585	58,142	62,990	65,370
	根 上 町	11,418	12,745	13,665	14,141	14,423	14,268	14,562	15,426
	寺 井 町	10,877	11,678	12,483	13,103	13,678	14,163	14,358	15,308
	辰 口 町	8,758	8,510	9,160	10,009	10,960	11,503	13,113	14,343
	川 北 町	4,363	4,267	4,267	4,256	4,271	4,554	4,514	4,922
	美 川 町	11,617	11,619	12,055	12,217	12,321	12,012	11,803	12,454
	鶴 来 町	12,229	12,280	15,252	17,159	19,271	20,266	20,860	21,477
野々市町	10,981	13,598	23,757	31,817	36,080	39,769	42,945	45,581	
中・上流部	河 内 村	1,406	1,173	1,229	989	987	1,088	1,171	1,205
	吉 野 谷 村	2,434	1,881	1,866	1,513	1,534	1,488	1,501	1,400
	鳥 越 村	5,244	4,353	3,904	3,566	3,421	3,378	3,256	3,154
	小 松 市	91,163	95,684	100,273	104,329	106,041	106,075	107,965	108,622
	尾 口 村	1,524	1,179	1,513	846	921	861	750	731
白 峰 村	2,642	2,141	1,470	1,230	1,291	1,264	1,249	1,186	
合 計		204,305	212,207	237,064	258,941	277,784	288,831	301,037	311,179

出典：国勢調査報告

手取川流域市町村の世帯数の推移

区 分	市 町 村	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12
下流部	松 任 市	6,268	7,028	8,754	11,148	13,473	15,416	17,757	19,926
	根 上 町	2,497	3,032	3,344	3,586	3,607	3,687	3,944	4,487
	寺 井 町	2,377	2,643	2,948	3,259	3,457	3,692	3,909	4,461
	辰 口 町	1,893	1,920	2,167	2,539	2,854	3,002	3,874	4,434
	川 北 町	880	911	917	945	945	1,010	1,066	1,241
	美 川 町	2,689	2,858	3,042	3,210	3,301	3,263	3,342	3,737
	鶴 来 町	2,754	2,883	3,789	4,295	4,907	5,346	5,726	6,282
野々市町	2,311	3,385	6,957	11,188	12,680	14,835	17,422	19,217	
中・上流部	河 内 村	306	285	273	249	251	267	303	338
	吉 野 谷 村	470	435	441	401	416	409	439	433
	鳥 越 村	1,060	976	928	886	858	848	820	831
	小 松 市	21,199	23,284	25,471	27,416	28,144	29,224	31,778	34,306
	尾 口 村	351	313	316	239	253	258	246	252
白 峰 村	603	565	452	444	437	422	393	405	
合 計		45,658	50,518	59,799	69,805	75,583	81,679	91,019	100,350

注 世帯数は、昭和55年までは普通世帯と準世帯の合計、昭和60年以降は一般世帯と施設等の世帯の合計である。

出典：国勢調査報告

3 - 3 産 業

手取川流域には、全国的にも有名な九谷焼（寺井町）をはじめ、酒造業（鶴来町）、仏壇（美川町）などの伝統産業がある。

また、稲作は手取川扇状地状の市町村において行われており、加賀の早場米として全国的に知られているが、年々第1次産業は減少してきている。

中・上流部市町村での産業別就労人口をみると、昭和50年～平成12年にかけては大きく変化していないが、下流部市町村の産業別就労人口では、扇状地上にある市町村が工場誘致のために工業団地の建設等により、第2次産業、特に第3次産業が大きく増加している。これは、近年の手取川扇状地の伏流水を利用したビール工場、電子産業等の企業が立地したために、第3次産業が大きく増加したためと考えられる。



九谷焼

出典：寺井町パンフレット



美川仏壇

出典：美川町パンフレット

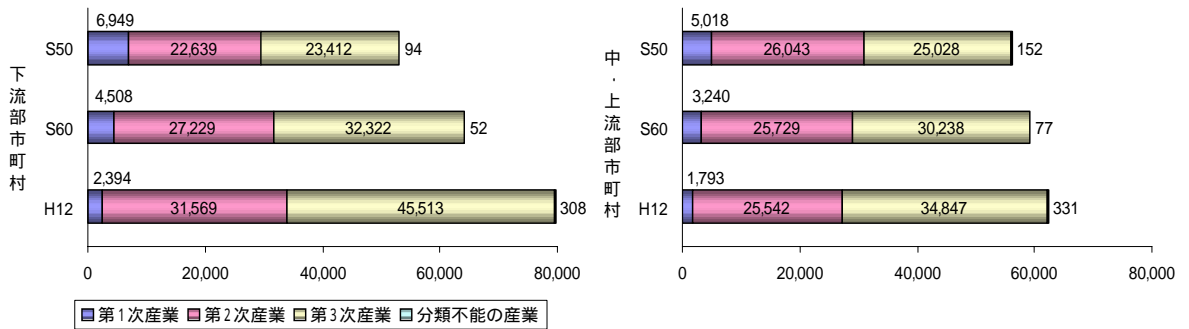
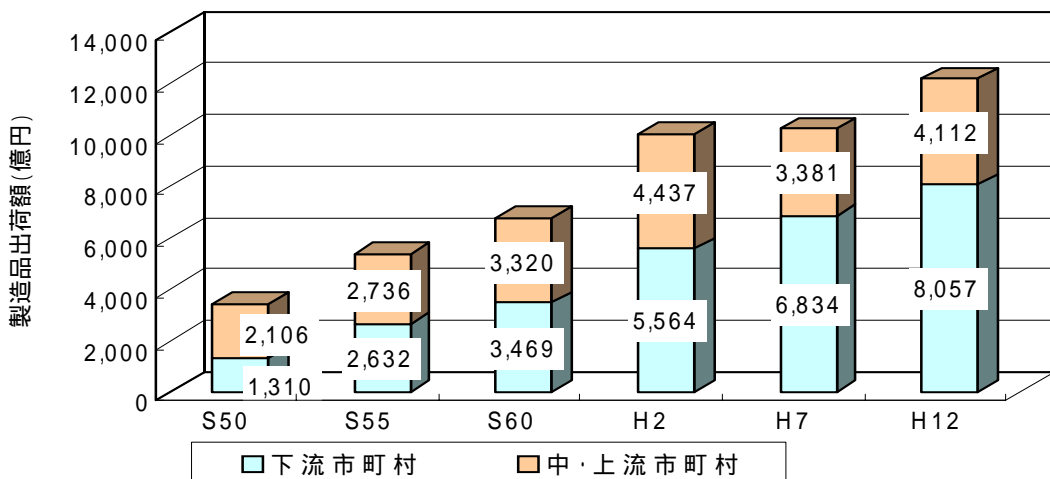


図3 - 2 流域関係市町村(上中・下流域別)産業就労人口(単位：人)

出典：国勢調査報告(S50、S60、H12)



鳥越村及び尾口村のH2～H12の製造品出荷額は秘匿であるため、その年の製造品出荷額には含まれていない。

図3 - 3 流域関係市町村(上中・下流域別)製造品出荷額

出典：工業統計(S50、S55、S60、H2、H7、H12)

3 - 4 交 通

手取川流域は、県都金沢市から距離約25～50kmに位置し、下流域までは一般国道8号、北陸自動車道(美川I.C)によってアクセスが確保されている。しかしながら、上流域へのアクセス道路としては福井県勝山市へ抜ける一般国道157号があり、手取川ダム建設に併せて大規模な改良がなされ、現在では金沢市から白峰村まで約2時間の所要時間となっている。

また、尾口村から岐阜県白川村間を繋ぐ「白山スーパー林道」が昭和52年に開通し、生活道路として、また広域観光ルートとして利用・活用されており、白山山麓の春の新緑、秋の紅葉においては観光として県内・県外の人々が多く訪れている。

鉄道については下流域をJR北陸本線が横断し、美川駅などに在来線や急行が停車している他、私鉄の北陸鉄道が金沢市野町から鶴来町までを結んでおり、中流域から金沢市への通勤・通学への交通手段として利用されている。

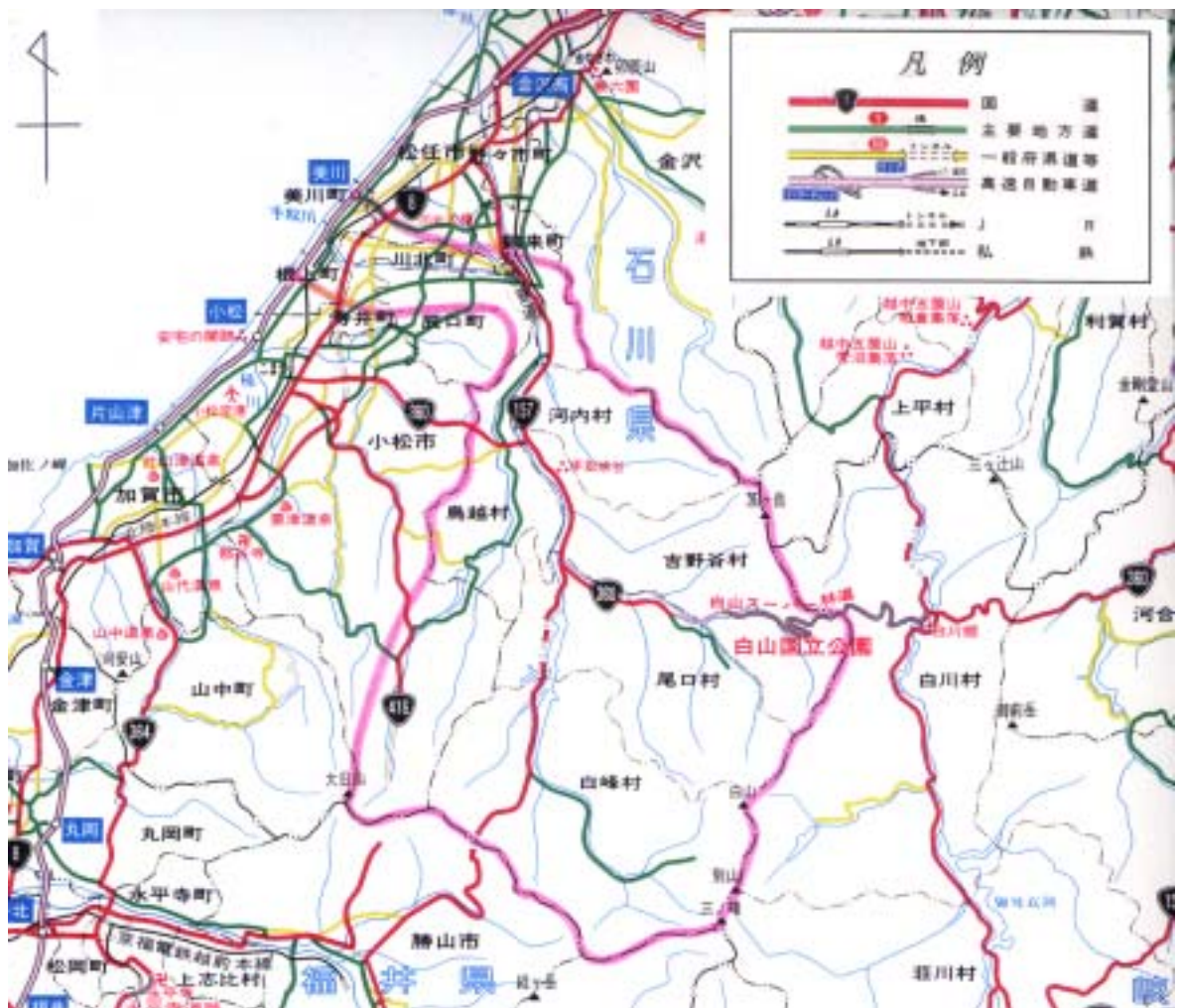


図 3 - 4 手取川流域の交通網